

第 53 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	高ゼミ	チーム名	高ゼミ第一班
タイトル	音楽サブスクリプション普及で変わりつつある音楽ビジネス		
テーマ群	d) 国際経済		
メンバー	網中瑠生 石村駿人 日下部拓哉 塩津尚生 中本瑞基 宮崎良平		
研究計画内容	<p>【研究背景と目的】</p> <p>この研究は、わたしたちの音楽業界への関心から生まれた。音楽がどのように私たちの生活と文化に影響を与えているのか、そして音楽ビジネスの未来にどのような可能性があるのかを明らかにするために、このテーマに取り組むことを決意した。</p> <p>近年、音楽業界はデジタル化とインターネットの普及により急速に変化している。CD やダウンロードから Apple Music や Spotify などのストリーミングへのシフトが主要な変化の一つだ。音楽配信売上は 9 年連続でプラス成長しており、ストリーミング型（サブスク型）の音楽配信が中心となっているが、一方で世界と比べて日本では CD の売り上げ市場も依然として残り続けている。</p> <p>このように、音楽業界のシフトチェンジについて、それでもなお CD の売り上げが残りつづけている要因について、我々は研究を行う。</p> <p>【研究内容】</p> <p>まず、近年成長傾向にある日本の音楽ソフト生産・音楽配信の売上の現状について分析を行う。</p> <p>現状分析から、音楽ストリーミング型サービスのメリットやデメリットを調査する。その中で日本の音楽業界では CD の売り上げが依然として高くなっている。</p> <p>この要因として、私たちはオリコンランキングなどを踏まえ、日本の最大手であるジャニーズ事務所がストリーミング型のサービスに曲を配信していないことであると考えている。こうした状況をふまえ、CD の売り上げが日本経済に与える影響、昨今のジャニーズの問題の発生により、CD の売り上げがどのように変化していくのか、それによる日本の音楽業界の売り上げへの影響などもあわせて調査していく。</p> <p>また、これらの調査を踏まえたうえで、これからの日本の音楽業界がどのように変化していき、サービスの比重がどこにかかるのかを推測し、これからの日本の音楽業界のあり方を考えていく。</p> <p>【参考文献】</p> <p>日本レコード協会「2023」https://www.riaj.or.jp</p>		